



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)
Action(行動・活動)
Kindness(親切・思いやり)
Open-minded(広い心・偏見のなさ)
Growth(成長・発展)
Appreciation(感謝・正しい評価)
Wellness(心身の健康・生活のバランス)
Answer(答えを見出す)

「自分なりのステップアップ」を目指す2学期に

充実した夏休みが明け、校舎にみなさんの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。各学年・各クラスが元気な姿で2学期を迎えられたことを、何よりも嬉しく思います。

今年の夏も、全国的に厳しい暑さが続いた夏でした。しかし、そうした暑さの中でも、みなさん一人ひとりが自分自身の課題と向き合い、有意義な時間を過ごしたことと思います。

部活動の大会やコンクールでの汗を流す姿、自宅等における受験勉強や課題学習、あるいは家族や友人とかけがえのない思い出を作ったこと…。それらの大切な日々の積み重ねは、目には見えなくても、間違いなく成長という確かな力となって皆さんの心身に根付いています。



9月から始まる2学期は、1年の中で最も長く、そして実り多い季節です。合唱コンクール、文化発表会、体育大会といった学校全体で取り組む行事や、日々の学習の深まり、そして3年生にとっては自身の進路を本格的に決定していく大切な選択の時期を迎えます。

そこで、新学期を迎えるみなさんに心がけてほしいことが一つあります。それは「自己ベストを目指す」ということです。人と比べて優れているかどうか、誰かに勝ったかどうかだけが価値ではありません。「昨日の自分より一歩前に進むこと」「苦手な課題から逃げずに

挑戦すること」「困っている友達にそっと手を差し伸べられること」—— そうした一つひとつの小さな「自己ベスト」の更新こそが、みなさんにとって大切なものです。

行事の成功も、日々の学習も、一人で完結するものは多くありません。互いの違いや個性を認め合い、手を取り合って一つの目標に向かう過程でこそ、本当の絆と成長が得られます。時には壁に突き当たることもあるでしょう。そんな時こそ、仲間や先生を頼りながら、一歩ずつ進んでいきましょう。

まだまだ残暑が厳しい日が続きます。熱中症予防など健康管理には十分注意しながら、実り多き2学期を共に創り上げていきましょう。

なり得る最高の自分になる

Becoming the best version of yourself!

災害への備え、できていますか？

災害への備えは大切だと思っても、「何から始めればよいか分からない」、「自分の住んでいる地域には発生しない」という人もいるかもしれません。日本では毎年9月1日を「防災の日」と定め、一人ひとりが防災対策を見直す機会としています。

近年、災害は頻発化・激甚化の傾向にあります。実際に、夏休み中には、千葉県と福井県で豪雨災害が発生しました。ネパール・中国の国境では土石流による大規模な災害が発生しています。台風の時期は河川の増水等による災害リスクも増加しています。「防災の日」をきっかけに、必要な防災行動をまずは1つでも始めてみませんか。

